



保育所だより



平成29年7月号
中部保育所
Tel.63-3221 090-5693-1233

梅雨の晴れ間にのぞく日差しに、夏の到来を感じるようになりました。今月は、子どもたちの大好きな水遊びやプール遊びを思いきり楽しんだり、色水や洗濯遊び、泥んこ遊び、絵の具でのボディペインティングなど、さまざまな夏の遊びも体験したりしながら、一人一人が心地よさや楽しさ、開放感を感じられるようにしたいと思っています。

また、22日には“わいわいまつり”を行います。うさぎ・ぱんだ・きりん組の子どもたちは、まつりを楽しみにしながら発表に向けて準備しているところです。当日はご家族でのご参加はもちろんのこと、小学生の皆さんや在宅のお子さん、また地域の皆様お誘い合わせのうえ、ぜひお出かけください。お待ちしております。

7月の行事予定

- 1日(土) ファミリーくらぶ①(電車教室)
- 3日(月)・4日(火) あいさつ運動
- 3日(月) プール開き
- 4日(火) お集まり会 安全の日
- 5日(水) クッキング：夏野菜カレー作り(うさぎ組以上)
- 6日(木) ◆一日保育士②
- 7日(金) 後期入所説明会 10:00～
- 10日(月)～14日(金) 身体測定週
- 11日(火) 保育所開放日③
わいわいくらぶカフェ 17:00～18:00
- 12日(水) 5歳児交流保育(北部保育所となぎさ海岸へ)
- 13日(木) 誕生会
- 14日(金) 避難訓練(風水害)
布団持ち帰り
- 17日(月) 海の日【祝日：休所】
- 20日(木) 集金日
- 21日(金) 弁当の日
- 22日(土) ◆わいわいまつり 保育所開放日④
- 25日(火) 巡回相談(岩橋臨床心理士来所)
- 26日(水) 避難訓練(火災)
- 28日(金) 修了児交流会 布団の持ち帰り



8月の主な予定

- 5日(土) ◆はやさめ久多美の夏祭り
きりん組：オープニング参加(和太鼓演奏)
於：久多美コミュニティセンター
 - 12日(土)・14日(月)・15日(火) ◆希望共同保育
 - 21日(月) ◆一日保育士③
- ◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



お知らせとお願い



★わいわいまつりについて

22日(土) 17:45から行います。ご家族で楽しんでいただけるよう計画しているところです。詳細は後日お知らせしますので、ぜひご家族お揃いでご参加ください。

★布団、パジャマの持ち帰りについて

夏季は汗をかきやすいので、布団は月2回、パジャマは週2回(水・金曜日)持ち帰りますので、ご協力をお願いします。なお、パジャマの着替えはTシャツと半ズボンでもよろしいです。

★履き物について

7・8月はサンダルを履かれてもよろしいです。マジックテープがついているような、足がしっかり固定されるものを選び、分かりやすいところに記名をしてください。ヒールのあるもの、ぞうり、つっかけ、クロックスはやめましょう。

職員出張のお知らせ △午後からの出張

- 1日 児童福祉施設調理担当者研修会～加野
- 4日△小児の事故予防サポーター研修～新宮
- 5～7日 乳児保育担当者研修会～吉岡
- 8日 保育所スキルアップ研修会～佐藤・浅野
- 12・13日 福祉職員キャリアパス対応生涯研修会～林
- 19日 人材育成ミーティング～多々納
- 19日 保育士採用2～5年目研修①～新宮
- 20・21日 改定保育所保育指針セミナー～山根のみ子
- 27・28日 中国地区保育研究大会～長廻
- 28日△運動体力向上指導者講習会～多納
- 29・30日 食と健康を考えるシンポジウム～金森亜希
- 29日 和食調理講習会～荒木

ご寄贈ありがとうございます。

ございまして。

ぶどう、花、風船
～保護者様

＜職員について＞

・7月より、高橋美恵子
調理師は北部保育所勤務
になりました。新しく、幸
野哲也調理師が勤務して
います。どうぞよろしく
お願いします。

保育目標～夏の遊びを楽しもう。

水遊びやプール遊びを存分にし、身体を思いっきり動かして遊びます。引き続き、泥んこや氷や寒天、シャボン玉、洗濯遊び、ボディペインティングなど、いろいろな素材や感触にふれながら夏ならではの遊びを楽しみます。

生活目標～体を清潔にしよう。

汗をかきやすいこの時期は、着替えたり沐浴やシャワーをしたりして体を清潔にし、さっぱりとした気分が味わえるようにします。汚れたままにしておくと、かゆくなりかきむしり、とびひ等の皮膚の病気にもつながります。

ご家庭でも、爪は短く切り、汗をかいたらこまめに着替え、毎日入浴し体を清潔に保ちましょう。

☆あそびのようす☆



天草を洗って干しています。(きりん組)



どろんこ遊びを楽しんでいます。(ことり組)



小麦粉粘土
(ひよこ組)



☆子育てのヒント

保育会保護者研修講演会 6月24日(土)

『親が子どもの心にしてやれること』

～これからの時代に求められる学びの土台とは～

島根大学大学院教育学研究科
教授 肥後氏

先日の保育会保護者研修会では、肥後先生に講演をしていただきました。幼児期に育てておくべき学びの土台について、具体的にお話いただき、とても分かりやすいお話でしたので一部ご紹介します。

＜コミュニケーションの2つのタイプ＞

コミュニケーションは、リアリティー(近感覚型)とファンタジー(遠感覚型)から成り立っている。

・リアリティー「ねばねばの世界」(嗅ぐ、触れる、口に入れる)

・ファンタジー「さらさらの世界」(見る、聞く)

*乳幼児期に“ねばねばの世界”を十分に体験させることが大切。ここが育っていないと、言葉は育たない!

＜団らんから育つもの＞

団らんとは、誰が話したか、誰が聞いたかが、どうでもよくなり溶け合って1つになるコミュニケーションのこと。

*“団らん”→ ここで人の話が聞ける土台ができる。

＜私たちを支える2つの自信＞

Being(在ること)の自信…変化しない、そのままがいい
存在することそのものの自信



“そのままがいいよ” 母性的な支え 一体化による安定(拘束)

Doing(成すこと)の自信…変化する、できるようになる
新しい知識・技術を身につけること
から来る自信



“がんばって
できるようになろう” 父性的な支え 対象化による安定(解離)

参加された方からたくさんのご感想をいただきました。一部抜粋してご紹介します。

○Being: あるがまま認めることは子育てでなくても人間として誰でも大切なことだと感じました。いつも私は4人の子どもたちが元気でいてくれること、やかましいくらい話をしてくれること、世話をやけることに感謝しました。

○心の深い部分を考えさせられたり、なるほど!と思うこともたくさんありました。色々と子どもに求めてしまうけれど元気で楽しく過ごしてくれるだけでありがたいと感じました。

○団らんはとても大切なあと改めて思いました。

○リアリティー遊びをいまのうちに経験させるよう頑張ります。

○ねばねば、べちゃべちゃの環境が得意になれるように育てていかないといいですね。